

OECDガイドラインへの今後の取り組みについて

日本繊維産業連盟

先に報告したように2018年10月22日に「責任ある繊維サプライチェーンのためのデュー・デリジェンスに関するセミナー」を開催したが、これを受け、今後の取り組みについては経済産業省を中心とした官庁の協力を得ながら下記の通り進めていく。

記

1. 10月セミナーに続き、団体会員の加盟企業を対象とした説明会を、半年に1回の頻度で開催する。
 - (1) 開催場所 東京と大阪を予定する。
 - (2) 内容 OECDガイドラインに関する説明並びに日本及び海外の取組事例について
2. 2019年2月13～14日にパリで開催される「OECD Garment Forum」において、講演、パネルディスカッション、ワークショップなどに参加することにより、欧州におけるデュー・デリジェンスの進め方の事例を調査すると共に関連情報を入手する。
3. 各社のデュー・デリジェンスへの取組に関する好事例を収集し、提供する。
4. 以上の活動を通じた取り纏めを2019年12月の常任委員会で報告すると共に、2020年度の活動方針を発表する。

【会員の取組み】

一社)日本アパレル・ファッション産業協会は、「CSR委員会」立ち上げ、次の総会までに「CSR憲章」を策定し、持続可能な社会の実現のため、経営トップが率先して社会的責任を果たすことを確認した。また、工場監査については、要求項目の標準化について評価ガイドラインを検討している。

以上